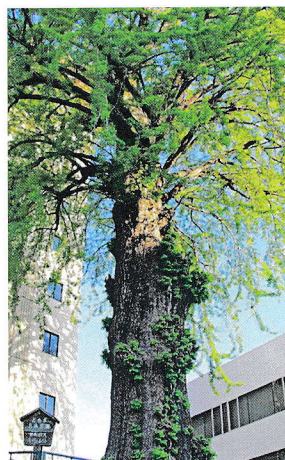


特定非営利活動法人 宇都宮市知的障害者育成会会報



おおいちょう

令和 8 年 3 月 31 日発行 (第 61 号)



本育成会は

何を目指していくのか

理事長 池 本 喜代正

長かった冬も終わり、少しずつ春の
気配を感じる季節になりました。

会員の皆さま、日頃より本育成会の
活動にご理解とご協力をいただき、本
当にありがとうございます。

手をつなぐ親の会は、戦後間もない
頃から今日まで、知的障害のある人と
その家族の暮らしを支えるために、先
輩方が力を合わせ、声を上げ、歩みを
重ねてきた会です。その積み重ねが
あったからこそ、今の制度や支援の形
があるのだと、あらためて感じていま
す。

一方で、近年は会員の高齢化や減少
が進み、「これから育成会はどこへ向
かうのか」を考える時期に来ていま
す。これは本育成会だけの悩みではな
く、県内や全国の多くの親の会が同じ
思いを抱えている状況です。この課題
は単に「会員が少なくなった」という
ことだけではありません。福祉制度や
サービスが少しずつ整ってきた今、こ
れまでのように親が前面に立つて要望
を伝える役割も、時代とともに変わり
つつあるのではないのでしょうか。これ

からは、親だけが頑張る会ではなく、
本人や家族、地域の人たちがゆるやか
につながり、支え合える場へと広がっ
ていくことが大切だと考えています。

本育成会では二〇二五年度から、認
定NPO法人を目指し、賛助会員一〇〇
名以上を目標に取り組んできました。
皆さまのご理解・お力添えのおかげで、
二〇二五年度は目標を達成できる見込
みとなりました。心より感謝申し上げ
ます。今後もこの輪を大切にしながら、
来年度以降も無理のない形で広げてい
くことが課題です。多くの方に活動を
知っていただき、応援していただけるこ
とが、本育成会のこれからを支える力
になると考えています。ご賛同いただ
き、ご協力のほどお願いいたします。

さて、今年は臨時総会の議を経て第
二戸祭作業所の解体と、新しい建物の
建築着工する予定です。生活介護事業
と地域活動支援センター事業を進めて
いくための、大きな節目の年となりま
す。四月頃に解体工事、五月頃には建
物の着工を予定しており、完成と引越
は十二月頃を見込んでいます。その後、

二〇二七年には戸祭作業所の解体や外
構工事へと進んでいく計画です。新しい
建物とともに、生活介護事業の展開に
も取り組んでいきたいと考えています。
作業所をご利用の皆さまには、しばら
くの間ご不便をおかけしますが、どう
かご理解とご協力をお願いいたします。

宇都宮市知的障害者育成会は、会員
数を増やすことだけを目標にするので
はなく、地域の中で「いてくれてよ
かった」と思ってもらえる存在であり
たいと考えています。知的障害のある
人の活動の場を充実させ、会員かどう
かに関わらず、必要な情報やつながり
に出会える、開かれた育成会を目指し
ます。これまで大切にしてきた相談や
学び、交流の機会を活かしながら、関
心のある方が無理なく関われる仕組
みづくりを進めていきます。

地域の一員として、知的障害のある
人の暮らしを支え続けること。その一
歩一歩を、これからも皆さまと一緒に
積み重ねていけたらと思います。どう
ぞよろしく願います。

宇都宮市知的障害者育成会

年会費 正会員 四、〇〇〇円

賛助会員 三、〇〇〇円

団体賛助会員 一〇 一万円

入会をご希望の方は、事務局まで問
い合わせください。 ☎(0908)868800

研修委員会報告

佐々木 洋二

令和七年十一月二十七日、姿川地区市民センターにおいて、「親が望むわが子の生活の場」と題した研修会を開催しました。

将来の子どもの生活を考える際、立地やサービス内容、本人との相性など、さまざまな観点から納得し、安心できる生活の場を見つけることは、決して容易ではありません。そうした不安を抱える保護者の方々が、今後を考えるためのきっかけを得る機会となればとの思いから、本テーマを設定しました。

第一部では、宇都宮市障がい福祉課企画グループ統括の松本様をはじめ、四名の方にご参加いただき、行政が進めている「親なきあと問題」への取り組み（四事業）についてご説明いただきました。質疑応答を通して、市の施策への理解を深めることができました。

第二部では、同テーマのもと、参加者全員による自由討議を行いました。保護者の生の声を共有する中で、いくつかの課題が浮き彫りとなりました。

討議ではさまざまな意見が交わされました。特に、「多様性が重要である」という観点から親の思いが語られた点が、印象に残りました。例えばグループホームについては、画一的な形ではなく、利用者一人ひとりの個性に応じた多様な選択肢を求める声がありました。また、障がい者支援においては、訪問系サービスが充実すること、施設やグループホームに限らず、自宅で暮らす場合の選択肢の幅が大きく広がるのではないかとといった意見が出され、多くの方の共感が得られました。



行事委員会報告

石川 順子

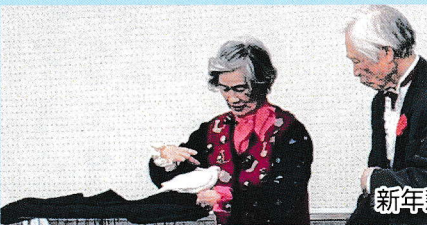
令和七年十一月十六日、生チョコと黄桃のトライフルを作った料理教室。同年十二月七日、ボウリング大会。同年十二月二十一日、佐々木様によるスウェーデンステッチ教室。令和八年一月二十五日、照内様ご夫妻によるマジックショーに大いに盛り上がった新年懇親会を開催いたしました。



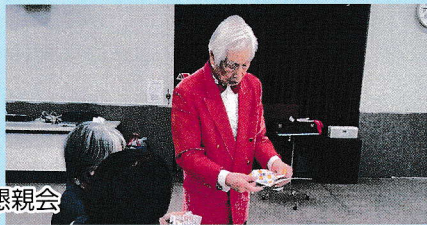
料理教室、美味しくできました。



ボウリング大会、楽しかった～

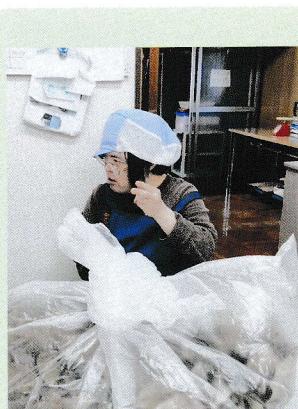


新年懇親会



スウェーデンステッチ教室

作業所だより 第二戸祭作業所



葉っぱがいっぱい！



ドヤッ

「カラギ茶」って聞いたことありますかね？カラギ茶は沖縄固有の樹木「カラギ」の乾燥葉からなる一種のハーブティーです。別名「沖縄シナモン」と呼ばれるように、とてもいい香りがします。第二戸祭作業所では、ひよんなご縁から、遠い沖縄から運ばれてきたカラギの乾燥茶葉を細断する作業を時々受託しています。

作業中は得も言われぬ、いい香りに部屋中包まれながら、利用者さんそれぞれ葉を分別したり、ハサミで細断したりしています。この時ばかりはいつも賑やかな第二戸祭作業所にも静かな時間が流れています。



いい香り～



第二戸祭作業所ありがとう！



ていねいに切っています



楽し～



がんばりますっ



みてみて

じゃがいもの植え付けで
全員集合！

サツマイモ 収穫しました！

春のジャガイモに続いて、サツマイモの栽培も大成功でした。作業所利用者の皆さんが収穫に加わり、大きな芋を丁寧に掘り出しました。

各作業所で販売した他、宇都宮市福祉の祭典において来場者の皆様に購入していただきました。

戸祭、第二戸祭合同チーム
「エビカニクス」を踊りました

大曾作業所は「しもつかれブルース」

さつまいも
たくさん採れたよ～

福祉の祭典で販売中

かわら版

☆おめでとうございます

第十九回宇都宮市福祉の祭典が十一月二十三日に開催され、次の方が表彰されました。

団体長表彰

安部 孝子様

☆ご寄付ありがとうございます

十二月 吉成キイ様よりご寄付いただきました。

十二月 (株)むぎくら様よりご寄付いただきました。

十二月 (株)むぎくら麦親会様よりご寄付いただきました。

三月 yonna coffee 様よりご寄付いただきました。



(株)むぎくら様



(株)むぎくら麦親会様

☆お世話になりました

増瀬 恵美子様 (戸祭作業所)

☆よろしく願います

板橋 由理様 (戸祭作業所)

令和八年度行事予定

『栃木県障害者スポーツ大会』

五月十七日(日)・二十四日(日)

栃木県総合運動競技場

『定期総会』

六月十四日(日)

宇都宮市総合福祉センター

『親子レク』

七月十二日(日)

鉄道博物館

『栃木県民福祉のつどい』

八月二十一日(金)

宇都宮市文化会館

『うつのみやふれあいスポーツ大会』

十月十七日(土)

清原体育館

『うつのみやふれあい文化祭』

十一月十四日(土)

宇都宮市文化会館

『カルフルとちぎ』(詳細未定)

十一月月上旬

『ボウリング大会』

十二月六日(日)

第二トヨーボウル

『料理教室』

十二月十三日(日)

『手作り教室 クリスマスボード作り』

十二月二十日(日)

『新年懇親会』

令和九年一月

『手をつなぐ育成会関東ブロック大会』

令和九年二月十三日(土)

ホテルレイクビュー水戸

会員だより

亀井 君子

二十歳まで、元気なうちにと思い娘の大好きな、アイドルグループ(光GENJI)の追っかけも遠い昔に……。現在四十五歳になった娘は、毎日元気に戸祭作業所に通所し二十七年になりました。友達に会い、週に一度、自販機補充の日を楽しんでいる様子です。

これからも笑顔ですごしてくれることを願っています。

編集後記

今年は、第二戸祭作業所の解体・新建造物の建設、そして戸祭作業所の解体と、大きな動きが予定されています。利用者や職員の皆様には、引越しをはじめ一時的にご不便をおかけすることになるかと思えます。何かとご苦労も多いことと思いますが、新しい建物での生活を楽しみに、どうかご理解とご協力をお願いいたします。

また、今年度も育成会の行事は例年通り実施する予定です。会員の皆様のご参加を心よりお待ちしております。



<https://utunomiyaiku.org/>

宇都宮市知的障害者育成会のホームページができました。ぜひご覧ください。

編集・発行

特定非営利活動法人
宇都宮市
知的障害者育成会

〒320-0053
宇都宮市戸祭町
2118 番地

TEL・FAX
028-908-8680